

1 個人:3件

(敬称略:五十音順)

氏名	所属または代表者	功績の概要
うちの まきはる 内野 政治	元アンリツ株式会社技術本部 先進技術開発センター シニア テクニカルアドバイザー	無線通信障害における特異事象の原因究明と分析手法について、測定機器の設計者としての確かな助言を行うとともに、重要無線通信の妨害排除に必要な測定方法を提案するなど、電波利用環境の整備と混信排除の効率化に多大な貢献をした。
きさざわ よしふみ 笹澤 好文	群馬県電波適正利用推進員協 議会 会長	多年にわたり、群馬県電波適正利用推進員協会の会長を務め、積極的に広く一般の方へ電波の適正な利用についての周知啓発活動に取り組むなど、電波利用環境の維持及び協会活動の発展に多大な貢献をした。
ふじしろ ただし 藤城 正	有限会社ティーエフ・ナビゲー ション 代表取締役	多年にわたり、登録検査等事業者の点検員として活動されるとともに、小型航空機に搭載する無線設備の点検に携わった豊富な経験を生かし、航空機の電波関係法制度に関する各種の相談に対応されるなど、電波利用の促進及び小型航空機の航行の安全に多大な貢献をした。

2 団体:5件

(敬称略:五十音順)

団体名	所属または代表者	功績の概要
茨城消防救急無線・ 指令センター運営協議会	会長 たかはし やすし 高橋 靖	県内の消防救急無線のデジタル化を積極的に推進するとともに、消防救急無線の広域化を図るため指令業務を集約化した施設を整備し、大規模災害や複雑多様化する事案に対応する情報連絡体制を確立するなど、電波の利活用の発展に多大な貢献をした。
一般社団法人 関東自動車無線協会	会長 たかの ひろひで 高野 公秀	タクシー無線のデジタル化移行に向け、管内各県での説明会の開催、低廉な無線設備の普及や支援制度活用をサポートなどに多年にわたり積極的に取り組まれ、電波利用の高度化と発展に多大な貢献をした。
ケーブルテレビ株式会社	代表取締役 たかだ みつひろ 高田 光浩	平成27年台風18号により発生した関東・東北豪雨による災害に際し、試験放送中のコミュニティ放送局を活用し、栃木市と協力して臨時災害FM放送局として開設・運用するなど、被災者に対する情報提供手段の確保に多大な貢献をした。
一般社団法人 日本コミュニティ放送協会 関東地区協議会	会長 こんどう りょう 近藤 良	平成27年台風18号により発生した関東・東北豪雨による災害に際し、常総市が開設する臨時災害FM放送局に対し、放送機材の調達などを行い、放送局の運用体制を構築するなど、災害時における情報提供手段の確保に多大な貢献をした。
水戸コミュニティ放送株式 会社	代表取締役 みづさわ けいこ 海老澤 啓子	平成27年台風18号により発生した関東・東北豪雨による災害に際し、常総市に臨時災害FM放送局の開設を提案し、放送機材の調達などを行い、市と協力して放送局を運用するなど、災害時における情報提供手段の確保に多大な貢献をした。